

笹原小学校区

アンケート報告会 & 第 1 回意見交換会【記録】

□ 2015 年(平成 27 年)9 月 27 日(日)9 時 30 分～12 時 ラスタホール 2 階多目的室

□ 参加者／75 名(住民 63 名、伊丹市 8 名、街角企画 4 名)

□ 当日の流れ／① 開会 ② アンケート結果報告会 ③ グループ別意見交換会 ④ 意見交換会結果の発表 ⑤ 閉会、今後の予定

笹原小学校区での地域ビジョン作成に向けた取組みが本格的にスタート。今回は、先に実施された、アンケート調査結果の報告会と第 1 回意見交換会が行われ、63 名の地域住民がラスタホールに集まりました。

「気兼ねすることなく、普段思っていることを話してほしい」という宮内会長のあいさつから始まり、6～7 月に実施されたアンケート結果の報告、6 グループにわかれてのワークショップ形式での意見交換、そして、その結果の発表、共有とつづきました。

意見交換会では、現在の地域のよいところと課題、今後の取組みアイデアなどをふせんを使って、出し合い、「健康福祉」「地域環境・美化・緑化」「防犯・防災・交通安全」「地域の活性化・地域交流」「子どもの健全育成」「地域拠点」「地域自治の強化・広報・財源・人材・組織」「その他」の 8 つにわけて整理しました。当日のアンケートでは、「さまざまな意見が聞けてよかった」との感想もあり、活発な意見交換会となりました。

最後には、堀事務局長から、「若い人を含む近隣の人に声かけをしながら、できるだけ多くの人を巻き込んで地域の将来を考えていきたい」と、ビジョンづくりに向けた今後の展開への想いが語られました。

アンケート結果や各グループの意見については、次のページ以降をご覧ください。

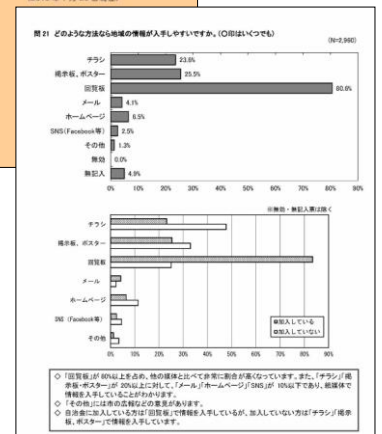


アンケート結果 (抜粋)

平成27年度
コミュニティ笹原協議会
まちづくりアンケート
集計結果
概要版
(2015年9月25日開催)

6～7月に全世帯を対象に実施されたまちづくりアンケートの結果概要を紹介します。報告後に行われた旗あげアンケートでは、参加者全員がアンケート結果に「同感」と答え、概ね参加者の意見と近い内容との結果でした。アンケートの回収率は以下のとおり、50%を超え、高かったものの、「未回答者の意見を知りたい」「なぜ、回答してくれなかったのか」との意見があり、今後への課題となりました。以下では、アンケート結果の一部を抜粋して、紹介します。詳細は、別冊の集計結果概要版をご覧ください。

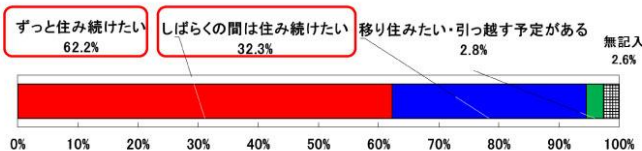
配布数	回収数	有効回答率
5,904	2,960	50.1%



- 持ち家の方が8割。住み続けたい人が95%
- 地域の魅力や誇りは「笹原公園」「施設・交通機関の利便性」「住みやすさ」「静かな環境、落ち着きがある、閑静だ」「交流、近所づきあい、声がけ」など
- 課題は、道路が狭い、歩道が狭い、自転車レーンの整備などの道路整備、子どもの登下校時の見守り、不審者の出没などの防犯、ゴミステーションの設置・カラス被害など環境美化、独居高齢者など高齢者の見守り
- 50歳以上は「地域住民間での見守り」「健康づくり」、30歳代は「防犯活動」「子供への健全育成」「清掃、美化活動」のほか「交流イベント」に関心

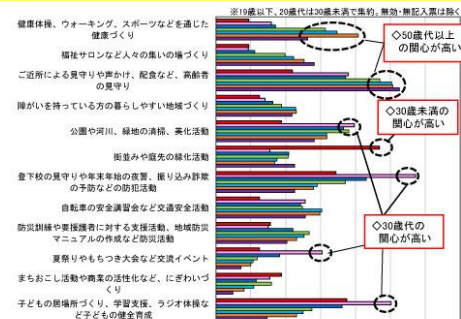
- 自治会加入が9割。現在の自治会活動の参加は、清掃・美化活動が多く、「知れば参加したい」活動では「健康講座」
- 参加したい行事・活動では、祭り、子どもが喜ぶもの、子供と一緒に参加できるもの、健康増進の運動といった意見が多いほか、清掃活動、芸術文化活動、講演会・勉強会など
- 現在の自治会活動への参加は、清掃・美化活動が多い
- 「今後、できることであれば参加・協力したい」が35.4%と多く、潜在的に参加・協力意欲がある方がいる
- 情報の入手は「回覧板」が約8割。自治会に加入している方は「回覧板」で情報入手、加入していない方は「チラシ」「掲示板、ポスター」で情報入手

問4 笹原小学校区での今後の居住の意向



- 「ずっと住み続けたい」が62.2%と最も多く、「しばらくの間は住み続けたい」と合計して94.5%と、定住意向が高い。
- 「移り住みたい・引っ越す予定がある」と答えた人の「転出する理由」では、より便利なところに移り住みたいという意見や環境面への不満などが挙げられている。

問5 今後取り組む必要があること



50歳代以上は「ご近所による見守り、高齢者の見守り」「健康づくり」、30歳代は「防犯活動」「子供の健全育成」「清掃・美化活動」の関心が高く、「交流イベント」への関心が他の年代より高い。30歳未満は「街並みや庭先の緑化活動」が高い。

問6 笹原小学校区での一番の魅力や誇り

環境

【静かさ】

- 静か、落ち着きがある、閑静(62件)

【自然の豊かさ】

- 緑、田畑、桜並木(57件)

【清潔さ】

- 清潔、きれい(清掃活動、植栽の世話)(29件)
- 公園の美化活動(花、ゴミの清掃)(19件)
- まちなみがきれい(まち全体、街路樹)(4件)

【環境全般】

- のんびり、ゆったりしている、おだやかである。(6件)

問19 地域活動への参加・協力の意向



- 「今後、できることであれば参加・協力したい」、「すでに参加・協力している」、「関心はあるが、今すぐの参加・協力は難しい」と合計すると8割以上が地域活動に関心を持っている。
- 「今後、できることであれば参加・協力したい」が35.4%と最も多く、潜在的に参加・協力意欲がある方がいる。

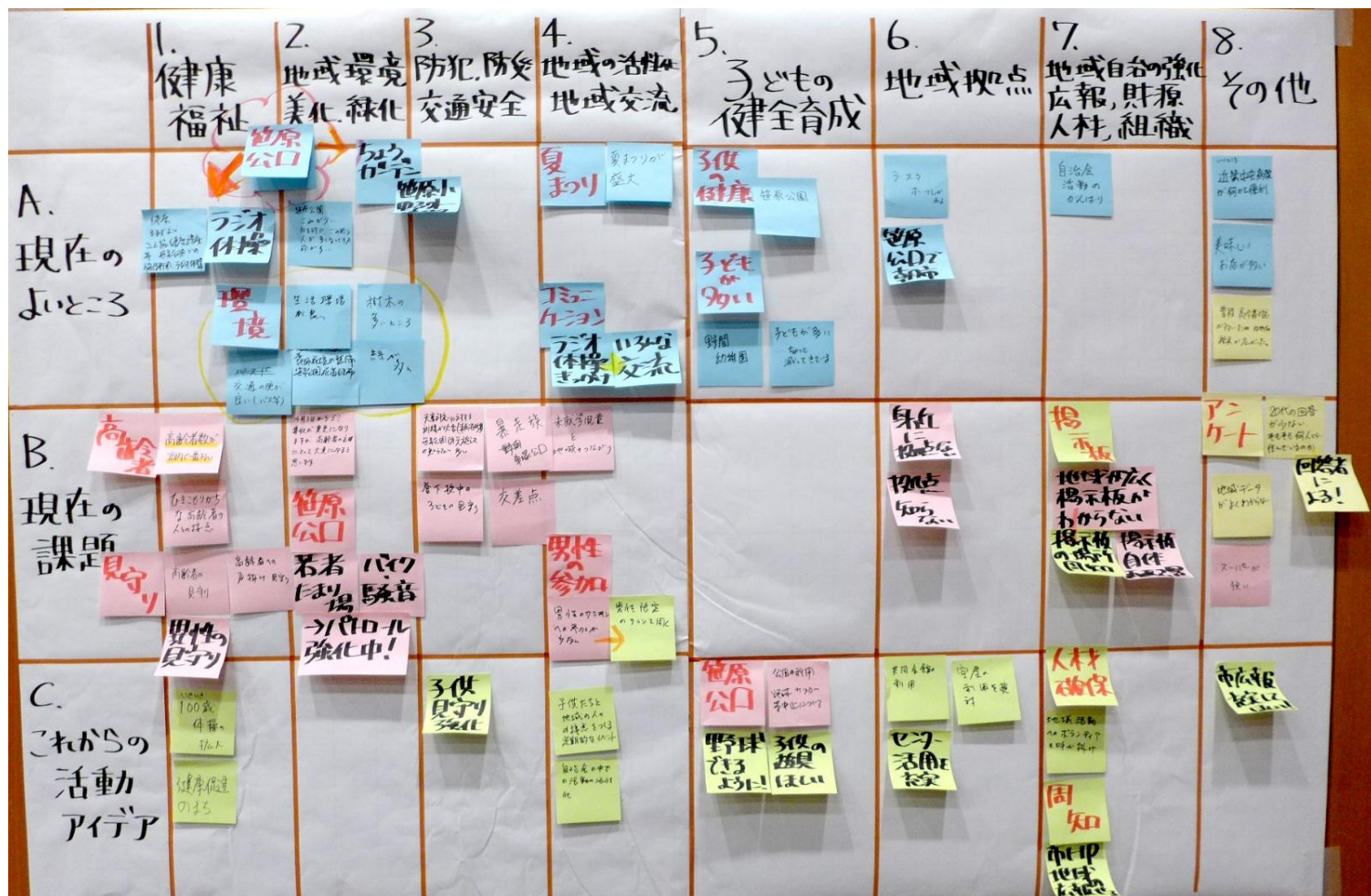
A グループ（地域：8名、市：1名、街角企画：1名）



A グループでは、まず、笹原公園での活動が話題となり、笹原公園で毎朝行われているラジオ体操では自然に人が集まるようになり、住民同士のコミュニケーションが図られていること、バタフライガーデンで笹原小学校の野外学習が行われていること等、笹原公園ならではの取り組みや活動が地域のよいところとして取り上げられました。

一方、健康福祉分野では、笹原地区は市内で最も高齢者数が多く、高齢者のひきこもりや異性への見守り活動の実施等が課題であり、今後、活動の進め方を検討する必要があるのではないかと声があがりました。

〈グループの意見の詳細〉



A グループ	健康福祉	地域環境・美化・緑化	防犯・防災・交通安全	地域の活性化・地域交流
現在の よいところ	【笹原公園】 ・ラジオ体操 ・コミ協健康講座等、笹原公園での施設利用、ラジオ体操等 【高齢者の見守り】 ・普段高齢者対応が多いため、多世代の視点が広がった	【笹原公園】 ・ゴミが少なく衛生的。ゴミをひろう人が増えてきた ・緑が多い ・バタフライガーデン（蝶の観察）がよい ・笹原小野外学習 【環境】 ・生活環境がよい ・近畿中央病院が何かと便利 ・樹木、緑が多い ・各地域花壇の整備、笹原公園での花の苗配布 ・交通の便がよい（バス等） ・美味しいお店が多い		【夏まつり】 ・夏まつりが盛大 【コミュニケーション】 ・ラジオ体操をきっかけにいろいろな交流が生まれている
現在の 課題	【高齢者の見守り】 ・高齢者数が市内で一番多い ・高齢者への声かけ ・高齢者の見守り ・ひきこもりがちな高齢者との接点 ・男性のサロンへの参加が少ない ・女性が男性を、男性が情勢を、異性への見守り活動の実施	【高齢者のゴミ収集】 ・4/1 からゴミ収集が変更になりますが、高齢者にとって大変になると思う 【笹原公園】 ・若者のたまり場化、バイクなどの騒音が問題となったため、現在パトロールを強化中	【災害】 ・災害に対する訓練が必要。笹原公園を防災施設と知らない人が多い 【防犯】 ・暴走族（車塚公園） 【交通安全】 ・交差点が危ない ・登下校中の子どもの見守り	【買い物の不満】 ・スーパーが狭い
これからの 活動 アイデア	【高齢者の健康】 ・いきいき 100 歳体操の拡大 ・男性限定のサロンを開く 【健康まちづくり】 ・健康促進のまちづくり		【交通安全】 ・子どもの見守り強化	【子どもイベント】 ・子ども達と地域の人々の接点を創る定期的なイベントを開催してはどうか。 【自治会の活性化】 ・自治会の活動を活性化

子どもの健全育成	地域拠点	地域自治活動の強化 広報・財源・人材・組織	その他
【子どもの健康】 ・ 笹原公園で遊ぶことで健全育成につながる 【子どもが多い】 ・ 野間幼稚園がよい ・ 少し減っているが、子どもが多いところがよい	【地域拠点が豊か】 ・ ラスタホールがある ・ 笹原公園の朝市がよい	【自治会活動が活発】 ・ 自治会活動のがんばりがよい	
【子育て層とのつながり】 ・ 未就学児童と地域とのつながり	【自治会単位の拠点不足】 ・ 身近に地域の拠点が無い 【拠点が知られていない】 ・ 拠点を知らない人がいる	【掲示板の活用】 ・ 地域が広く、掲示板の場所がわからない ・ 地域内には様々な掲示板がある。掲示板自体を再配置してはどうか	【アンケートの20代の会等が少ない】 ・ 20代の回答が少ない。そもそも何人くらい住んでいるのか（ただしアンケートは1世帯に一通、回答者が誰かにより偏りはある） 【地域データが必要】 ・ 地域データがよくわからない
【笹原公園】 ・ 公園の利用。野球、サッカー等中止について、野球できるようにしてほしい ・ 子どもの遊具がほしい	【共同利用施設の活性化】 ・ 共同利用施設の利用、活用の充実 【空き家の活用】 ・ 空き家の利用を検討してはどうか	【掲示板の周知】 ・ 掲示板の場所の周知 【人材確保】 ・ 地域活動へのボランティアの呼びかけ 【周知】 ・ 市HPに地域が発行している広報のせてはどうか	【市への要望】 ・ 市広報を充実してほしい

B グループ（地域：8名、市：1名、街角企画：1名）

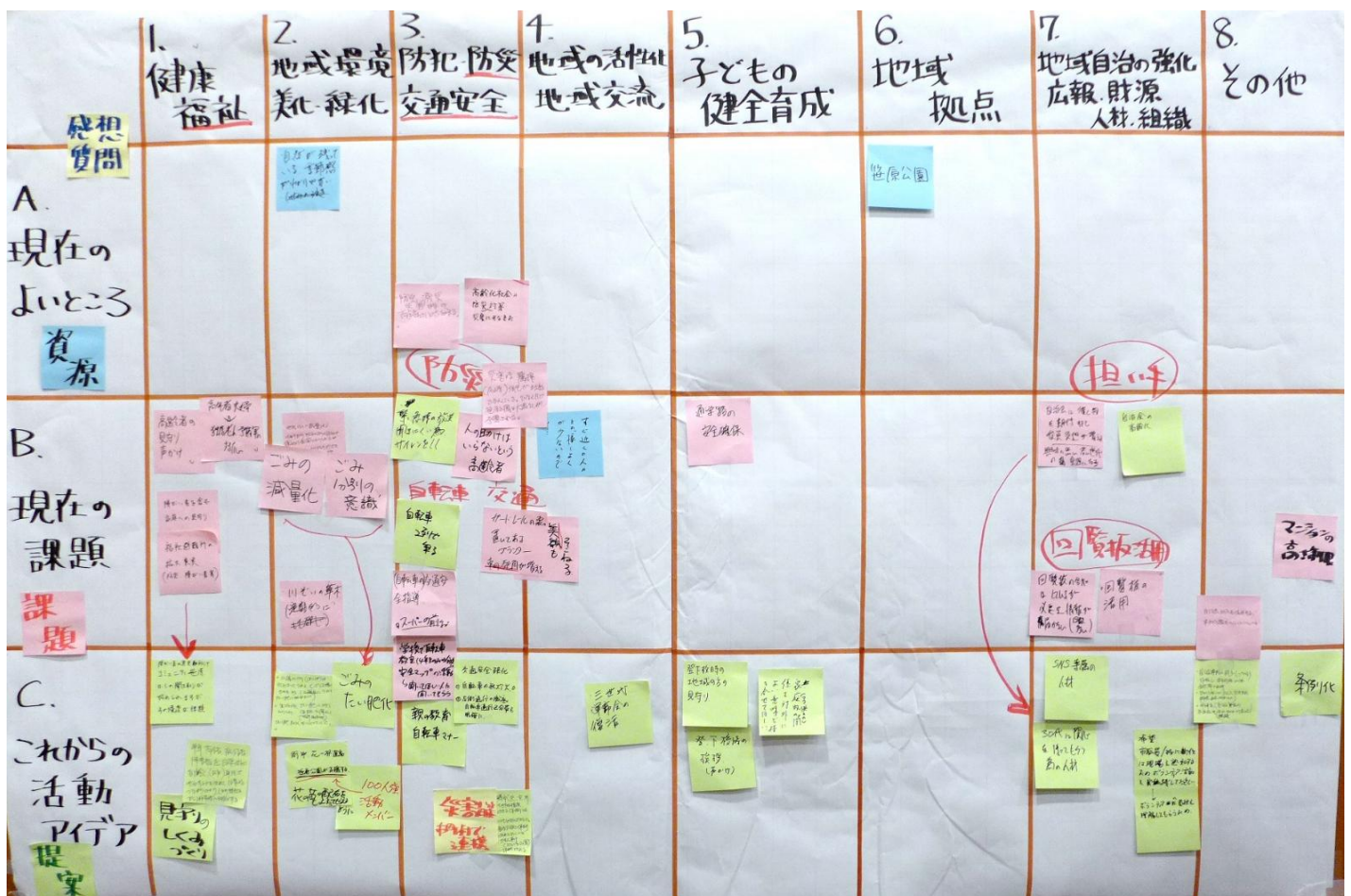


Bグループでは、現在のよいところについては、皆さんが口をそろえて「笹原公園」との意見でした。

課題は、自転車の交通マナーや、高齢者、特に独居高齢者が今後増えていくなかで高齢者の見守り、また、防災対策や地域自治の担い手の不足、回覧板の活用等があげられました。また、災害時には、尼崎市側等隣接する地域の住民からも避難してくる可能性があるので、行政間での連携や災害時の体制づくりが必要との意見もありました。

その他、子どもの健全育成では登下校時の声かけ、地域自治の強化では SNS の専属人材の確保や 30 代に関心を持ってもらうこと、自治会案内の冊子の作成および全世帯への配布、班単位（自治会単位）の交流会や文化活動、親睦の強化、地域の活性化では三世代運動会の復活等の提案があがりました。

〈グループの意見の詳細〉



B グループ	健康福祉	地域環境・ 美化・緑化	防犯・防災・交通安全
現在の よいところ		【自然が豊か】 ・自然が残っている。季節感がわかりやすい	
現在の課題	【高齢者の見守り】 ・高齢者の見守り、声かけ ・高齢者夫婦＝独居老人予備軍と考える必要がある 【障がい者の見守り】 ・障がい者を含む家庭への見守り ・障がい者に対して、コミュニティ笹原からの聞き取りが始められますが、その浸透が課題 ・福祉避難所の拡大、充実（障がい者等のための防災）	【ゴミの減量・分別】 ・来年4月から燃えないゴミの回収が金曜から水、木曜日に分けられ、地域でゴミの減量化を行う →パッカー車が回収したゴミの重さをはかり、まちごとにゴミの量を発表する ・ゴミ分別の意識向上 【環境美化】 ・川沿いの草木を定期的に伐採 【高さ規制】 ・マンションの高さ制限について地域で現在協議が進められている	【災害への備え】 ・防災・減災。災害時に高齢者の命を守る ・災害に備えた、高齢化社会の防災対策 ・災害時に隣接する尼崎市の住民が多数避難してくる。避難民で笹原公園は大混乱が予想される ・人の助けはもらえないという高齢者の対応をどうするかが課題 ・緊急時の放送が聞きにくい。サイレンを設置してほしい！ 【自転車マナーの問題】 ・自転車に二列で乗り、マナーが悪い ・学校で4年生のみ自転車教室が開かれているが、全校生徒を対象とすべきである 【交通安全】 ・安全マップの活動は、聞いてほしい人にきちんと届くようにした方がよい ・ガードレールの裏に置いてあるプラントで、車の死角が増える。美観もそこねる
これからの活動 アイデア	【見守りのしくみづくり】 ・単身高齢者、病弱者、障がい者を日常的に自治会（班）単位で世話する人を決めて、日常的なつながりをはかり、訓練しながら非常時に対応する ・見守りのしくみづくり	【ゴミのたい肥化】 ・公園のゴミ（葉っぱ）は穴を掘って埋める（ゴミ工場では燃やさず、公園に埋めて、たい肥にするとよい） ・理解、協力のもと、田畑や公園で生ゴミをたい肥にするとりくみを実施する。 ・たい肥ボックスをつくる 【環境美化】 ・笹原公園が支援する街中花いっぱい運動を笹原公園の活動メンバー（100人強）が支援する。花の苗の配布をもっと知ってもらえるように 【高さ制限の条例化】 ・マンションの高さ制限についての条例化の検討	【自転車マナーの向上】 ・自転車の交通安全指導（スーパーの前等） ・自転車マナーは親の教育が必要 ・交通安全強化（自転車の無灯火〇、左側通行の徹底、自転車通行区分も明確に） 【防災活動】 ・災害対策は市町村で連携する →伊丹市が近隣の市と細かく行政相談、連携して対応できる体制をとる。地域に任されても対応できない。コミ笹でも災害時対応体制、担当、責任者を決めておく。災害本部（笹原小）、避難本部（笹原公園）など細かく体制を決める

地域の活性化・地域交流	子どもの健全育成	地域拠点	地域自治活動の強化・広報・財源・人材・組織	その他
		【笹原公園】 ・ 笹原公園		
【近所つきあい】 ・ すぐ近くの人と接する機会が少ない	【登下校時の見守り】 ・ 通学路の安全確保		【自治会の高齢化、担い手不足】 ・ 自治会に催しものを期待すると役員負担が増える → 地域活動に興味のない若い世代の負担になる ・ 自治会の高齢化 ・ 自治会加入を促進する。未加入者を減らしていく 【回覧板の活用】 ・ 回覧板の活用 ・ 回覧板で告知しているが、必要な情報が届かない（回覧板の回数が多い）	
【子どもが参加できるイベント】 ・ 三世代運動会の復活	【登下校時の見守り活動の強化】 ・ 登下校時の地域の方の見守り ・ 登下校時のあいさつ、声かけ ・ 子どもとの家庭内の関係を対外により意味で持ち合わせてほしい		【広報活動のための人材確保】 ・ SNS 専属の人材 ・ 30 代に関心を持ってもらうための人材 【自治会活動の活性化】 ・ 班単位（自治会単位）の交流会や文化活動、親睦の強化 【自治会活動の案内冊子の配布】 ・ 自治会案内の冊子（プリント）を作成し、未加入者はじめ、全世帯へ配布する ・ 未加入者への加入おすすめ（班長、会長はじめとして）	【市職員の意識向上】 ・ 市職員（特に新任）は現場を認知するため、ボランティア活動を実践してもらいたい。ボランティアの負担を理解してもらいたい

C グループ (地域:12名、街角企画:1名)

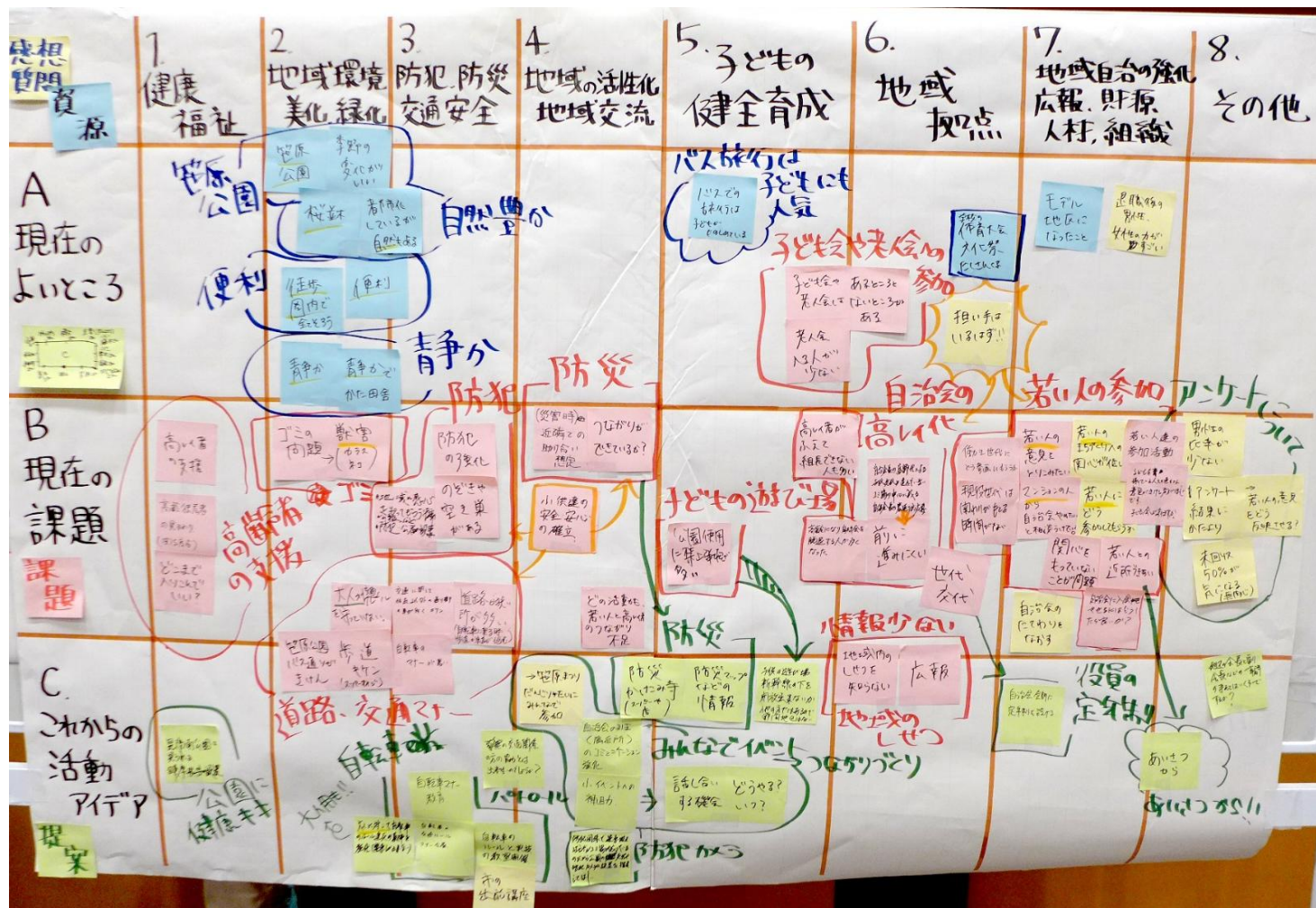


C グループでは、現在のよいところとして、アンケート結果と同様に、利便性や笹原公園等の自然の豊かさ、全体的に閑静なまちなど、地域環境の魅力に関してたくさんの意見があがりました。

課題は、防犯の強化や、災害時の助け合いに備えたつながりづくり、道路整備や交通マナーの徹底といった安心安全に関する意見が多くあがりました。子どもたちの安心安全を確保するためにも、防犯カメラの設置や防災マップなどの情報周知拡大、おとなも交えた自転車マナー教室の開催などの提案がありました。

また、自治会組織については自治会役員の高齢化や若い人の参加が少ないことが課題であり、一方で学校行事などでは多くの子育て世代の姿が見られることから、「担い手はいないのではなく、参加に結び付けられていないだけ」と考え、あいさつ等の近所づきあいを活発化し、参加促進につなげたいという提案がありました。

〈グループの意見の詳細〉



C グループ	健康福祉	地域環境・ 美化・緑化	防犯・防災・交通安全	地域の活性化・ 地域交流
現在の よいところ		【笹原公園】 ・季節の変化がよい 【自然豊か】 ・都市化しているが自然もある ・桜並木がきれい 【利便性】 ・徒歩圏内で全てそろう 【静か】 ・静かで、片田舎		【自治会単位でのバス旅行】 ・地域で企画しているバス旅行は子どもにも人気がある
現在の 課題	【高齢者の支援】 ・高齢者の支援 ・独居高齢者の見守り →どこまで入り込んでよいのか？	【動物によるゴミの散乱】 ・野良猫やカラスによるゴミの散乱	【防犯対策】 ・防犯の強化 ・のそきや空き巣がある 【防災対策】 ・災害時、近隣での助け合いが想定できているのか ・助け合えるつながりができているのか 【交通安全、交通マナー】 ・道路が狭いところが多い（自転車に乗るとき、歩道を通るか車道を通るか悩む） ・スーパーオオジの歩道、笹原公園のバス通りが危険 ・住民以外の通り抜けの車が多く危険 ・自転車のマナーが悪い ・大人が交通ルールを守っていない	【世代間交流】 ・どの活動でも、若い人と高齢者の交流が不足している
これからの 活動 アイデア	【公園への健康器具の設置】 ・昆陽南公園で見られるような健康機器を他の公園にも設置する		【防犯対策】 ・防犯カメラの設置 ・交番の設置 【災害時に向けた対策】 ・地域のスーパーや商店を災害時に一時的に集まれる「防災かけこみ寺」にする ・防災マップ等の市の情報の周知拡大 【自転車マナー教育】 ・自転車の交通ルール、マナー講座・教室 ・市や警察の交通関係の協力（出前講座） ・大人に対する自転車のルール違反の取り締まりを強化	【参加しやすいイベントづくり】 ・笹原祭りを、岸和田のだんじりのように地域みんなで開催する行事にする ・住民発案の小イベントの実施を通じて、自治会の班（隣近所）のコミュニケーションを強化する。イベント開催に向けて支え合う →イベントの開催に向けて、気軽に話し合いをする機会をつくる

子どもの健全育成	地域拠点	地域自治活動の強化・ 広報・財源・人材・組織	その他
		【地域の担い手が活躍している】 ・退職後の男性や女性の力で地域が支えられている ・学校の体育祭や文化祭などの行事にはたくさんの子育て世代が来る →担い手はいる	【市のモデル地区！】 ・モデル地区になったことは誇り
【公園でボール遊び等ができない】 ・公園使用に関して禁止事項が多い ・ボール遊びできる場がない	【広報不足】 ・地域内の施設を知らない	【子ども会や老人会への参加】 ・子ども会や老人会がある地域とない地域がある ・老人会に入る人が減っている 【若い人（子育て世代等）の参加】 ・若い人や働き世代にどう参加してもらうか ・現役世代は関わりを持つ時間がない ・若い人の意見をとりこみたい ・若い人の地域活動、まちづくりへの関心が低い ・子育て世代の意見が聞ける場がほしい ・若い人との近所づきあい 【自治会の高齢化】 ・高齢者が増えて組長をできない人が増えている ・高齢になり、自治会を脱退する人が多くなった ・役員の世代交代が進まず、議論が前に進みにくい 【自治会のあり方の課題】 ・自治会の縦割り構造 ・自治会に加入してもらうにはどうしたらよいか ・マンション居住者から自治会をやめたいという相談を受けている	【アンケートの非回答者の問題】 ・男性の回答率が少ない ・アンケート回答者に偏りがある ・若い人の意見を反映させる必要がある ・未回収の50%の人が気になる。無関心なのか
【新幹線高架下の遊び場としての活用】 ・新幹線の高架下を遊び場として開放できないか。すでに実施している地域もあるので、野間でもつくってほしい		【自治会の高齢化対策】 ・自治会側に定年制をもうけ、世代交代を促す 【若者の参加に向けて】 ・あいさつからはじめる	

D グループ (地域:11 名、市:1 名)

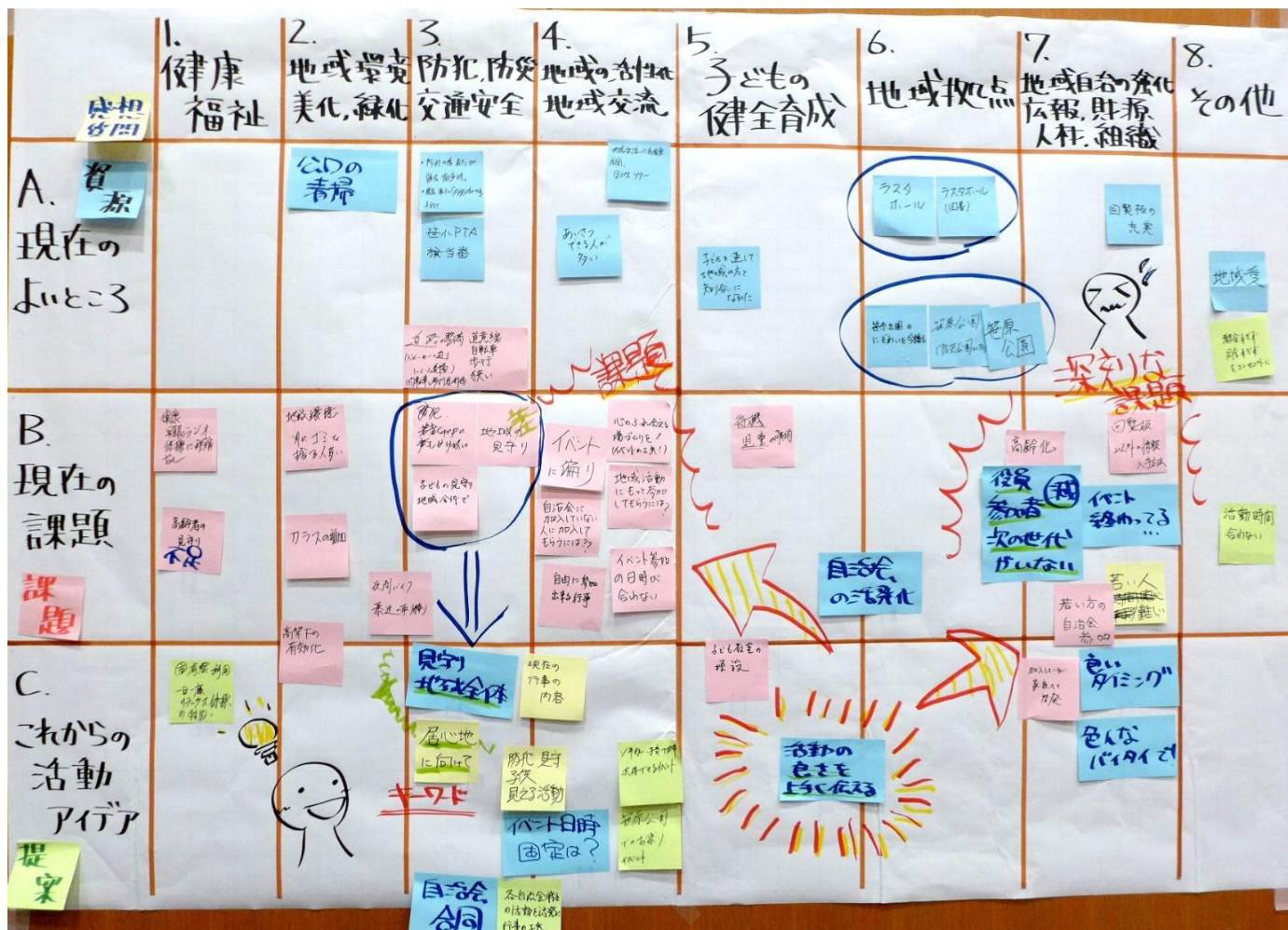


D グループでは、まず、笹原公園の魅力や地域への深い愛着が大切な地域の基盤となっていることが、よいところとの意見がありました。

逆に、若い人や自治会未加入者の地域活動、行事への参加促進が深刻な課題で、適切なタイミング、適切な媒体で、活動のよさを伝えることが大切と確認されました。

行事やイベント等様々な活動は、人によっては縁遠く感じてしまうことがあり、最も身近な団体である自治会単位の行事や活動を活発にしていくことが重要である一方、今後は、笹原小学校区をひとつの地域として捉え、自治会の連携やつながり、課題の共有を小学校区全体でしっかりと行っていくことが重要であると話し合われました。

〈グループの意見の詳細〉



D グループ	健康福祉	地域環境・美化・緑化	防犯・防災・交通安全	地域の活性化・地域交流
現在の よいところ		【清掃活動】 ・公園の清掃	【防犯対策】 ・防犯のため、農民、職人らの有志が朝夕の散歩時に「防犯パトロール中」のマークを付けている ・笹原小学校 PTA の旗当番	【地域交流】 ・地域交流の自治会合同のバスツアー ・あいさつのできる人が多い ・子どもを通して地域の方と知り合いになった
現在の課題	【ラジオ体操の理解】 ・早朝ラジオ体操は、よい取り組みなのに、うるさいと言われるなどあまり理解されていない 【見守り活動】 ・高齢者の見守り活動が不足している	【ゴミ問題】 ・周りにゴミをすてる人が多い 【カラス問題】 ・カラスの増加	【道路の課題】 ・道路の整備（ベビーカーで通りにくい道幅のところ） ・道意線は自転車、歩行者にとって狭い 【夜間の安全】 ・夜間バイク、暴走の車、あり 【自転車】 ・自転車と歩行者の行動 【子どもの見守り活動】 ・地域の見守りに差がある 【防犯面】 ・若者と声かけできない	【イベントの課題】 ・イベントに偏り ・心のふれ合える場づくりを！（イベントの工夫） ・イベント参加の日時が合わない ・自由に参加できる行事 ・地域活動にもっと参加してもらうには？ ・回覧板以外の情報の入手方法 ・回覧を見る時にはイベントが終わっている ・自治会に加入していない家庭への啓発
これからの活動 アイデア	【健康づくり】 ・一日一度、リラックス体操のすすめる 【その他】 ・市の有線（災害時用の屋外拡声器）の利用	【高架下の活用】 ・高架下の有効活用	【見守り活動への提案】 ・地域全体での見守り活動 ・防犯活動、見守り活動を知らない住民に知っていただくため、活動内容を見える化させたい 【キーワード提案】 ・キーワードは「居心地向上に向けて」	【イベントへの提案】 ・現在の行事の内容を紹介する ・今後、高齢者と子育て世帯が共存できるイベント ・笹原公園を活用したイベント。たとえば、お祭り。 ・イベント日時を固定してはどうか？ ・情報発信は適切なタイミングで行う。 【自治会活動への提案】 ・各自治会単位の活動を活発に。行事の工夫→自治会合同 ・活動のよさをうまく

子どもの健全育成	地域拠点	地域自治活動の強化・ 広報・財源・人材・組織	その他
	【ラスタホール】 ・ラスタホール（図書館） 【笹原公園】 ・笹原公園（防災公園）	【回覧板が充実している】 ・回覧板の充実	【地域への愛着】 ・地域愛
【待機児童の解消】 ・待機児童の解消		【担い手不足】 ・高齢化 →役員、参加者の減少 →次の世代がいない ・若い人の自治会参加 ・若い人の参加が難しい ・活動時間が合わない 【自治会加入】 ・自治会に加入していない人に参加してもらうには？	
【子ども教室の増設】 ・子ども教室の増設	【笹原公園】 ・笹原公園のにぎわいを今後も継続させたい	【活動周知】 ・活動のよさをうまく伝える →よいタイミングで、いろんな媒体で	【コンセプトの提案】 ・都会すぎず、田舎すぎずをコンセプトにする

E グループ (地域:12名、市:1名)

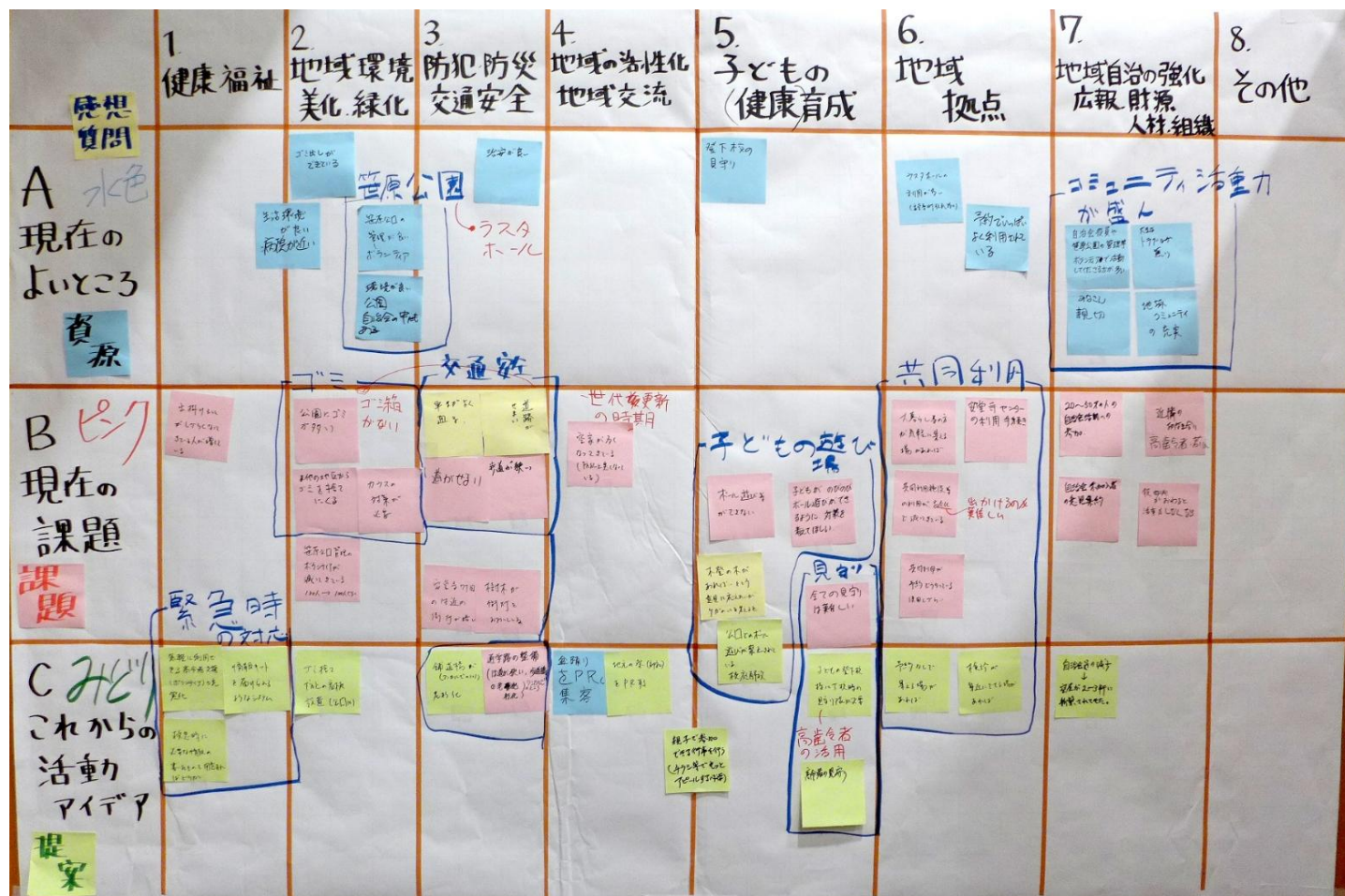


E グループでは、他のグループと同様に笹原公園の管理が行き届いていて、美しい公園だという意見が多くありました。一方で、公園管理ボランティアの減少やボランティア募集の声かけが課題となっています。

その他の課題として、子どもの通学路やのびのび遊べる場所の整備が行き届いていないという子どもに関する課題や、共同利用施設の手続きが大変で使いづらいという意見があがりました。

また、笹原小学校区はコミュニティ活動が盛んなことが魅力ですが、今回のような意見交換の場にも、自治会等の団体に所属している人しか集まらないので、どの地域団体にも所属していない人や、高齢者など、外に出てこられない人の意見をくみ上げ、活かしていくことが重要だとまとめられました。

〈グループの意見の詳細〉



E グループ	健康福祉	地域環境・美化・緑化	防犯・防災・交通安全	地域の活性化・地域交流
現在の よいところ		【生活環境がよい】 ・ゴミ出しがしっかりとできている ・生活環境がよい。病院が近い 【笹原公園がよい】 ・笹原公園の管理（ボランティア）がよい ・環境がよい。公園が自治会の中にもある	【治安がよい】 ・治安がよい	
現在の課題	【高齢者の外出や見守り活動】 ・出かけづらくなっている人が増えている ・高齢者の見守り	【笹原公園のボランティアが不足】 ・笹原公園の管理ボランティアが減ってきている（130人→100人くらい） 【ゴミ問題】 ・公園にゴミが多い ・ゴミ箱がない→ゴミ箱はわざと置かないようにしている ・カラスの対策が必要 ・他の地区からゴミをすてに来る人がいる	【街灯が暗い】 ・安堂寺町で街灯が暗い箇所がある ・樹木が街灯をおおっている ・空き家が多くなってきている（防犯上よくない） →世代更新の時期 【交通安全】 ・車がよく通る ・道路が狭い ・歩道が狭い ・歩道橋が老朽化 ・通学路の整備（歩道が狭い、歩道橋の老朽化）	
これからの活動アイデア	【緊急時の対応】 ・気軽に利用できる高齢者支援（ボランティア）の充実 ・伊丹市救急情報安心キットを届けられるようなシステム ・救急時に必要な情報を書いたものを用意する	【緊急時の対応】 ・ゴミすて防止の看板を公園に設置する	【交通安全対策】 ・歩道橋の更新 ・通学路の整備（歩道が狭い、歩道橋が老朽化している）	【緊急時の対応】 ・盆踊りをPRして、集客する ・地元の神社の祭りをPRする ・親子で参加できる行事を行う（チラシ等でもっとアピールする必要がある）

子どもの健全育成	地域拠点	地域自治活動の強化・ 広報・財源・人材・組織	その他
【緊急時の対応】 ・登下校の見守り	【ラストホール】 ・ラストホールの利用が多い （特に安堂寺町の住民） ・予約でいっぱい。よく利用されている	【コミュニティ活動が盛ん】 ・自治会役員や笹原公園の管理等、ボランティアで活動してくださる人が多い ・大きなトラブルがない ・みなさんが親切 ・地域のコミュニティの充実	
【子どもの遊び場】 ・ボール遊び等ができない ・公園でのボール遊びが禁止されている ・子どもがのびのびボール遊びができるように対策を考えてほしい ・木登りできる木があればよいという意見に応えたいが、けがのことを考えると難しい 【子どもの見守り活動】 ・全ての見守りは難しい ・子どもの登下校、特に下校時の見守りが必要 →高齢者の活用	【共同利用施設】 ・ひとり暮らし等の方が気軽に集える場があれば ・安堂寺センターの利用手続き→使い勝手がよくない ・共同利用施設等の利用が高齢化で減ってきている（高齢者は外出が難しい人が多い） ・共同利用施設の予約状況がわからず、利用しづらい	【自治会活動への参加】 ・20～50歳の自治会活動への参加 ・役が終わると活動しなくなる 【近隣のおつきあい】 ・近隣のおつきあい（高齢者、若い人） 【自治会未加入者の意向】 ・自治会未加入者の意見集約	
【子どもの遊び場】 ・校庭開放	【集える場がほしい】 ・予約無しで集える場があれば 【検診できる場がほしい】 ・検診が身近にできる場があれば	【空き家対策】 ・空家が増えている（住宅が新築されている地域もある）	

F グループ (地域:12 名、市:1 名)

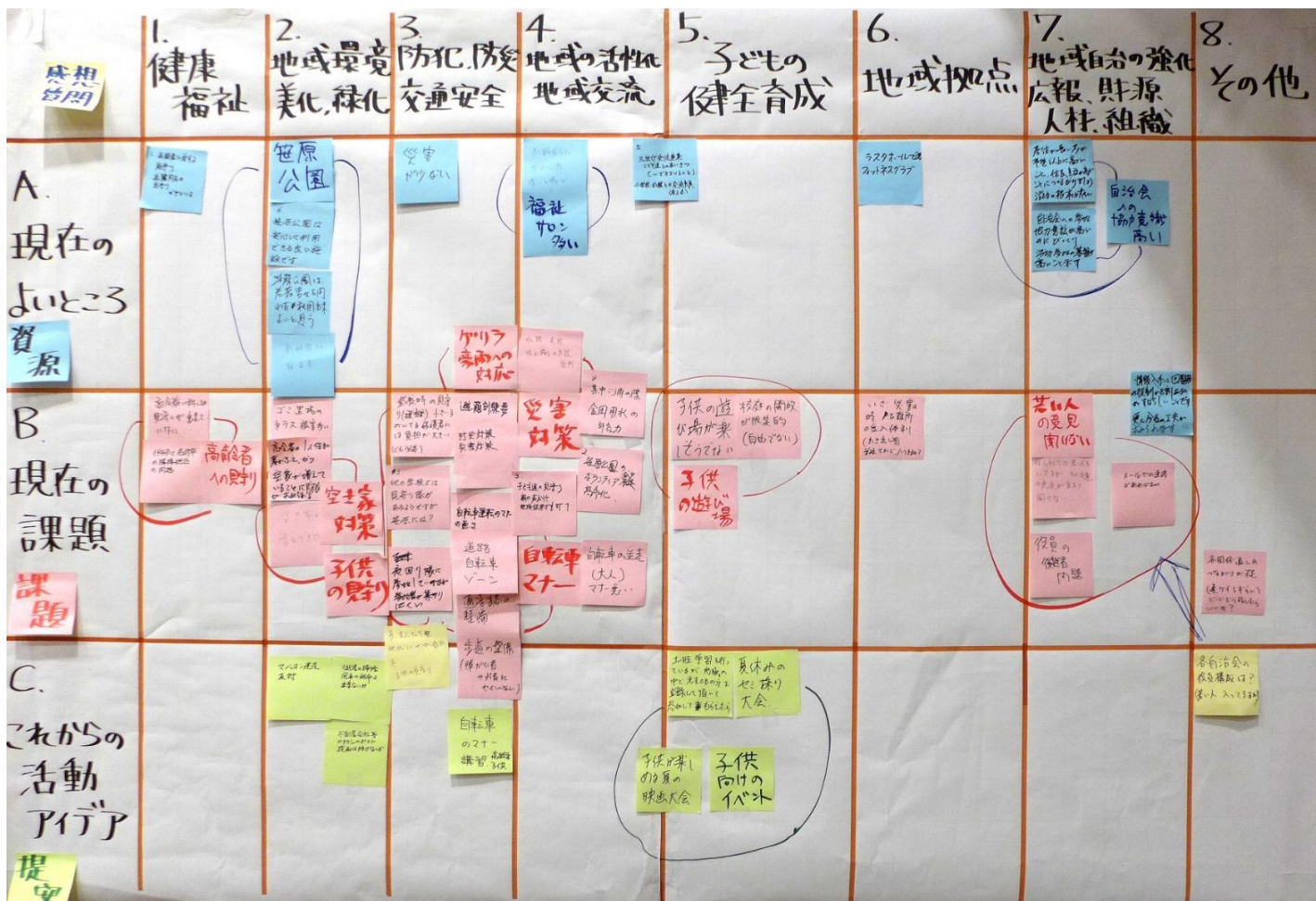


F グループでは、福祉サロンが多いことが他の小学校区と比べた時の特長であり、魅力でもある。同時に、自治会の協力意識が高く、つながりの基盤がしっかりしていると感じた。それが、長く住んでいる人が多い理由ではないかとの意見がありました。

課題については、ゲリラ豪雨が発生し、用水路の水があふれた時などはどこへ避難するのか、尼崎市など他市からの住民の受け入れ容量はあるのか、という防災面での意見が多く出されました。このほか、高齢化に伴う空き家の増加に対する課題意識をもってほしいとの声がありました。

子どもの健全育成に関して、夜回りや地域の見守り活動への参加者が集まりにくいこと、子どもの遊び場不足などの課題が出され、校庭開放や子ども向けイベントの増加を通じて、子どもが楽しく過ごせる地域にしたいといった提案がありました。

〈グループの意見の詳細〉



F グループ	健康福祉	地域環境・美化・緑化	防犯・防災・交通安全
現在のよいところ	【高齢者への見守り】 ・高齢者に対する近隣どうしの見守りができている 【福祉サロンが多い】 ・高齢者向けサロン等、集いの場が多い	【桜並木がよい】 ・新幹線下の桜並木 【笹原公園】 ・笹原公園は安心して利用できるよい施設 ・笹原公園は老若男女を問わず利用できる	【災害が少ない】 ・災害が少ない
現在の課題	【高齢者への見守り】 ・高齢者に対しての見守りができていない ・伊丹市と尼崎市の隣接地域での見守りの問題 →境界を越えて見守りをする必要があるか？	【カラス問題】 ・ゴミ置き場のカラス被害が多い 【ボランティアの課題】 ・笹原公園のボランティア減少、高齢化	【災害対策】 ・避難訓練が必要 ・防災対策、災害対策 ・いざ災害の時、避難所の受け入れ体制（炊き出し等）学校などに入りきるのか 【ゲリラ豪雨への対応】 ・増水時の危険箇所、水路点検 ・集中豪雨の際、金岡雨水幹川の許容力が不安 【交通安全】 ・自転車運転のマナーの悪さ ・自転車の逆走、大人のマナーが悪い ・道路の自転車ゾーンの整備 ・通学路の整備 ・歩道の整備、障がい者や子どもにやさしくない 【空き家対策】 ・空き家が増えてきた ・高齢者の一人住まい者が増え、かつ空き家が増えていることに防犯対策が求められる
これからの活動アイデア		【清掃活動】 ・側溝の掃除用具の配布ができないか 【マンション問題】 ・マンション建設反対 ・不動産会社等のチラシ、ポスト投函を防げないか	【自転車のマナー】 ・自転車マナーの講習（子ども、高齢者） ・子どもの見守りに多くの老人たちに参加してほしい

地域の活性化・ 地域交流	子どもの健全育成	地域拠点	地域自治活動の強化・ 広報・財源・人材・組織	その他
	【交流事業がよい】 ・ 3 世代交流事業、子どもたちとのあいさつができている ・ 老人会と小学校、幼稚園との交流事業	【ラストホール】 ・ ラスタホールのフットネスクラブ	【周知の工夫】 ・ 情報入手手段として「回覧板」の割合が 8 割あるのはすばらしい。さらなる今後の工夫が求められる 【自治会への協力意識が高い】 ・ 居住期間が長い人が予想以上に多い。住民意識の高さにつながる。活動の根本が大きい ・ 自治会への参加協力意識が高いのにびっくり。活動参加の基盤が高い	
	【子どもの遊び場】 ・ 子どもの遊び場が楽しそうでない ・ 校庭の開放が限定的（自由に使えない） 【子どもの見守り】 ・ 登校時の見守り（旗当番）は必要だが、小さい子のいる保護者には負担が大きい ・ 他の学校では見守り隊があるようですが、笹原には？ ・ 子どもたちの見守りのための朝の声かけは、地域住民でも可能？ ・ 夜回り隊に参加しているが、参加者が集まりにくい		【メールでの連絡体制】 ・ メールでの連絡があればよい 【役員の後継者不足】 ・ 役員の後継者問題 ・ 各自治会の役員構成は？若い人は入っているのか？ 【団体間の連携】 ・ 各団体どうしのつながり不足（連携しづらい）どこにどう話したらいいの？ 【若い人の意見が聞けていない】 ・ 住民としては、若い人もいますが、意見があまり聞けない	
	【子ども向けの取組み】 ・ 土曜学習を行っているが、地域の中で先生 OBの方を登録していただいて参加してもらえたらよい ・ 夏休みのセミとり大会 ・ 子どもが楽しめる夏の映画大会			

総括

各グループからの発表後、全体の発表内容のまとめが共有されました。すべてのテーマにまたがってたくさんの意見が出ましたが、全体を通じて「笹原公園」が地域の魅力だという意見が多く、今後の活用が重要視されていることがわかりました。一方で、管理ボランティアの減少や、若者のたまり場となっていることが課題としてあがりました。また、見守りについても参加者の多くが関心を持っていることがわかりました。高齢者や障がい者、子どもの見守りは不十分な部分もあることから、地域全体での見守りや、あいさつなどからはじまる近隣どうしでの見守りが重要だという意見があがりました。8つのテーマの中で意見が多く寄せられたのは、「防犯・防災・交通安全」と「地域自治の強化・広報・財源・人材・組織」のテーマでした。

「防犯・防災・交通安全」については、災害対策にはあまり大きな関心がない一方、大雨の対策は必要だという意見がありました。また、交通では道路の整備や、大人の自転車マナーなどのハード面、ソフト面両方からの課題があり、空き巣等への防犯対策も必要との声がありました。

「地域自治」では、地域への愛着の大きさが魅力だという意見がありました。課題としては、若い人の参加促進や、地域活動への関心の向上、自治会の高齢化、担い手不足などの意見が多くのテーブルで共有されました。解決に向けて、今回のような校区全体での活動の実施や、回覧板、掲示板の活用が重要ではないかという意見がありました。



